

26 住民の多様性に寄り添う情報発信

取組分類	参加体験	行動特性	デジタル
	☑災害の切迫		
自治体	広島県尾道市		

問合せ先：広島県尾道市 総務課

取組概要

- **SNS・登録制メール・防災アプリ**を利用して防災情報を発信するとともに、**パソコンやスマートフォンなどを持たない層へは防災ラジオを、聴覚障害者がある世帯には、文字表示機能付き防災ラジオを無償で貸与**している。
- **こうした媒体の全てに対して、一括に情報配信**できるように整備した。

取組のきっかけ

- 平成30年7月豪雨では、パソコンやスマートフォン等の情報機器を持たない層への情報伝達が課題となったため、多様な主体に向けた情報発信の取組を進めた。

取組のポイント

市では、SNS・登録制メールなど多様な伝達手段を用いて防災情報の発信を行ってきたが、平成30年7月豪雨での反省を踏まえて、以下を導入した。

<防災ラジオの導入>

- 防災ラジオは1世帯1台を無償貸与。聴覚障害者手帳を所持する方等がある世帯には、文字表示機能付き防災ラジオを無償貸与。
- **災害時には、気象情報や避難情報、避難所開設情報などの防災情報を随時発信**している。
- 防災情報以外にも**行政放送や自治会単位での地域放送が可能**。日常的に使用しやすいものとなっている。

<防災アプリの導入>

- 防災アプリを導入し、市民の積極的な避難行動を促すため、**地域ごとの細やかな情報をプッシュ型で配信**。
- GPSにより現在地から一番近い避難所への経路や、現在の**災害リスクを表示する機能**などが備わっている。

<同時発信>

- 各種媒体へ一括して**情報配信**できるよう整備を図った。

▼防災ラジオ

▼防災アプリ

▼防災アプリでの危険な個所の表示や避難所への道順の表示

取組の効果

- 一部地域では従前、屋外スピーカーによる情報配信が行われていたが、防災ラジオに切り替えたことにより豪雨災害時にも**確実に情報が伝わる**ようになった。
- 各種媒体へ一括して**情報配信**できるよう整備し、災害時の**情報配信の効率化**にもつながった。